



## 花粉症

例年2月初旬頃から始まり、3月になってピークを迎える花粉症。鼻炎症状、眼症状、はたまた体の不調まで、色々な不快な症状を引き起こします。

内科や耳鼻科で点眼液をもらう患者さまも多いと思います。他科で処方される点眼は抗アレルギー点眼のみで、それだけでは効かない方は、ステロイド点眼を使用しないと治りません。

しかし、**ステロイド点眼は副作用もあります**。眼科専門医からきちんと説明を受け、正しくつかいましょう。

## 洗眼の役割

花粉の時期に外を歩くと、洋服や持ち物に飛散した花粉が付着します。眼表面に混入した花粉がアレルギー性結膜炎を引き起こします。アレルギーの基本は、アレルギーの原因（アレルゲン）の除去、隔離です。花粉から隔離は難しくても、洗眼で除去することは可能です。アレルギー点眼だけでなく、**洗浄用点眼も有効**です。

## 急に痒くなったら

花粉の飛ぶこの時期、あまりの痒さにどうしようもなくなることがあります。目をこすってしまうと、一時は満たされますが、またすぐに痒くなり、瞼は腫れて、皮膚は赤くボロボロに・・・。

本当に痒い時は、**冷やしてください**。搔くのではなく、とにかく冷やします。買い物をした時についてくる冷却パックを眼にそっと押し当てて耐えましょう。冷やすと、痒み刺激が麻痺して、痒みが改善します。

## 19時まで受付

当院では、19時まで受付をしております。会社帰りに少しでも多くの患者さまに利用できるようにと、クリニック開設以来の伝統です。

疾患によっては、日中の検査が必要であったり、紹介状を作成し、大学病院などへ緊急的に受診する必要があります。その場合は、翌日に再度受診を指示する場合があります。



菅谷眼科医院  
SUGAYA EYE CLINIC

# 院内だより

# Vol.01

平成31年4月

## 代替わり

長らく、院長をしていた菅谷眞から息子、菅谷哲史へ代替わり致します。名誉院長として、**菅谷眞は4月からは毎週火曜日**に診療を担当します。長らく、通院されている（父に会いに来ている）患者様は火曜日に来ていただくとよいと思います。

今後は、新たに院長としてバトンタッチをした菅谷哲史が主とした診療を行っていきます。

## 新院長紹介

2003年に獨協医科大学を卒業した後、日本大学医学部板橋病院眼科学教室に入局し、医師としてのスタートを切りました。

眼炎症疾患を得意としております。現在も日大板橋病院で専門外来を担当しております。長らく大学病院で**初診担当や救急担当の中核**を担ってきました。大学の初診担当は、専門分野以外の患者さまの診察や治療を受け持つこととなります。眼科疾患一般に高いレベルが要求される環境で働いておりました。

## 新しい取り組み

当クリニックは、昔からこの大塚で眼科医院を開設しておりました。古き良き伝統を受け継ぎながら、時代のニーズにあった新しいことも取り入れながら、基本に忠実な医療に取り組んでいきます。

大塚の町が少しずつ変わっていくように、その地域に住む人々も変わってきております。

医療を一つのサービスと捉え、よりよいものを提供し、それが患者さまの利益になるように心がけて行くつもりであります。

## 院長略歴

- 2003年 獨協医科大学卒業
- 2003年 日大板橋病院 研修医
- 2005年 銚子市立総合病院勤務
- 2006年 日大板橋病院 専修医
- 2011年 日大練馬光が丘病院 勤務
- 2012年 日本大学大学院卒業  
(医学博士取得)
- 2013年 米国Tufts大学留学
- 2014年 日本大学医学部 助教
- 2016年 救急外来医長
- 2017年 ぶどう膜炎専門外来チーフ
- 2019年 菅谷眼科医院 継承  
日本大学医学部 非常勤講師